

今日の行き先

日付：2023年2月21日（火）

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	冬のリスクに備える 血栓病予防 脳血管疾患・心筋梗塞 について	日経・広告 20 生活習慣病 ・医療保障	<ul style="list-style-type: none"> 血液中にできた血栓が血管を詰まらせることによって引き起こされる脳梗塞や心筋こうそくなどの血栓病。とくに冬の時期は血栓症による死亡患者数がピーク(1・2月が最多) 血栓症とは、動脈硬化によって血管が詰まり、酸素や栄養が送られなくなることで、その先の細胞の壊死などを引き起こす。血栓できる場所によっては、脳梗塞・心筋こうそくを発症 前兆を見逃さないことが大切で、脳梗塞の場合は、一時的に脳の血液が滞ることによる「ろれつが回らない・めまい・手足のしびれ」といった症状が5～30分ほど続く。こういった症状が頻発すると、約30%の人が5年以内に脳梗塞を発症するといわれています 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病(特に脳血管疾患・心筋こうそく)の話題として活用 生活習慣病の保障の確認から、拡充や最新化(範囲や再発、併発に備えているか等)
2	確定申告も一瞬で 北欧、 マイナンバー活用で先行 について	日経 2 創客・ ライフ	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーのように国民一人ひとりに番号を割り振り、行政サービスに生かす番号制度の先進国は北欧諸国。それぞれの番号と給与や年金、寄付金などの個人情報とがひも付き、例えばデンマークでは税の確定申告が書類の承認だけですぐに終わる。北欧は行政手続きの7割がオンラインですむとの調査もあり、1割にとどまる日本との差は大きい。かくて 	<ul style="list-style-type: none"> お客さま情報の再収集(確定申告の有無) 創客やアプローチ、提案、再提案の機会の創出
3	生保、 損失覚悟の外債売却 について	日経 9 投資・ 積み立て	<ul style="list-style-type: none"> 生命保険会社が外国債券の売却を急いでいる。米ドルなど為替リスクをヘッジ(回避)するコストが上昇し、実質利回りを食い潰しているため。主要生保12社の22年末の外債含み損は1兆円弱。その3カ月前は4600億円強の含み益で、外債の含み損益が急速に悪化 各社は国内の低金利が長引く中、少しでも運用利回りを稼げる外債への投資を増やしてきた。有価証券の運用に占める外国公社債の割合は04年度の13%から21年度には22%に 今後の焦点は各社がヘッジ外債に振り向けてきた資金をどこに投じるか。明治安田生命の大崎運用企画部長は「金利水準を見定めながら20年債や30年債を大規模に買い入れる」と意欲を示す一方、「現状は全力で買いに行く水準ではない」とも語る 	<ul style="list-style-type: none"> 投資や積み立ての話題 積み立てのポートフォリオの確認から、リバランスへのアドバイス お客さまの志向に応じた商品を訴求
4	明治安田、 立ち入り検査へ 金融庁 職員の着服問題で について	日経 9 コンプライアンス ・生命保険	<ul style="list-style-type: none"> 金融庁が明治安田生命保険に立ち入り検査する方針を固めた 同社は2022年に営業職員による着服などの不祥事を公表。営業職員を適切に管理できる体制が整っていたか調べる。行き過ぎた節税が問題の「節税保険」の募集状況などもあわせて確認する考え。明治安田生命は22年6月、東京の新宿支社に在籍していた70歳代女性の元営業職員が顧客の金銭を不正に取得していた(被害総額は2000万円) 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス関連の話題 自身の活動を振り返るとともに、お客さまに対するコンプライアンス遵守に対する意識・態勢の訴求による健全性の訴求

市況情報※

日経平均/前日比	27,531.94/ 18.81	定期預金金利(1,000万以上/10年)	0.002%
TOPIX	1,999.71/ 7.78	国債(5年)/前日差	0.220%/ 0.010
ダウ平均	33,826.69/ 129.84	国債(10年)	0.500%/ 0.000
上海総合指数	3,290.34/ 66.31	米国債(10年)	3.820%/ ▲0.040
ドル円	134.04-06 75銭高	中国国債(10年)	2.916%/ 0.027

今日は何の日

- 日刊新聞創刊の日⇒
- 漱石の日

1872(明治5)年のこの日、現存する中では日本初の日刊新聞『東京日日新聞』(現在の毎日新聞)が創刊した。日本初の日刊新聞は1870(明治3)の『横浜毎日新聞』であるが他社に吸収されているため、現存する中では最古とされている。ただし、毎日新聞は自身のことを「東京で最初の日刊紙」と表現

誕生日うらない

本日生まれの方の特徴：**恥かしがり屋の隠れた芸術家**

長所

- 感受性が豊か
- 控えめで穏やか
- 協調性がある

短所

- 天邪鬼
- 他人に影響されやすい
- 過度の心配性

誕生花：ネモフィラ

花言葉：どこでも成功・可憐
・あなたを許す

誕生日
カラー
赤色



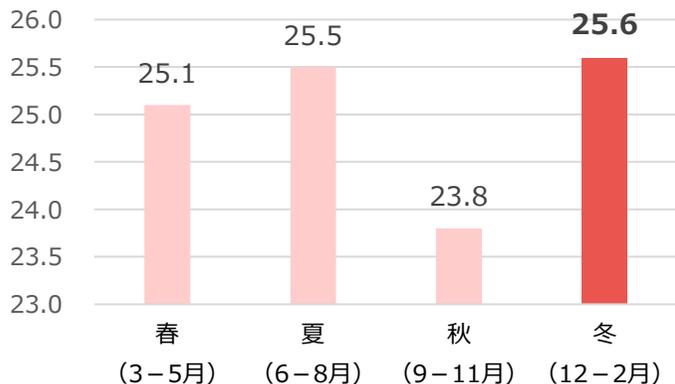
詳細はこちら

本日の深掘りウォッチ：冬場に気をつける病気は、ヒートショックによる心筋梗塞や脳卒中！？

お風呂場での推定死亡者数は年間約 ① (厚労省)！全国の交通事故の死亡者数の約6倍にもなっており、最近では週刊ダイヤモンドでも特集が組まれました(21年4月)。風呂場の事故はヒートショックによる諸症状が最も有名で、毎年12~4月に多く発生。大半が65歳以上の高齢者であるものの、体力に自信がある人や若者も含まれており、誰にも起こりうる症状として認識しておきましょう！

1 脳卒中は冬場に多い！

※下記集計は、脳梗塞/国立循環器病研究センター



- ・入院治療を受けた急性期脳梗塞患者2,965例の結果
- ・心房細動(不整脈)の新規発症が冬に多い
- ・冬や春の脳梗塞患者は秋の脳梗塞患者に比べて、中等症~重症例が有意に多くなる(死亡例の割合は、夏が秋に比べて高い)
- ・心房細動などの心臓病を原因とするタイプの脳梗塞は、他の全身血管病と同様に冬の病気と言えます(国立循環器病研究センター)

(参考)

最近浴室で命を落とされた著名人

- ・松永ひとみさん(歌手/享年53歳)
風呂場での転倒による脳挫傷
- ・白川由美さん(女優/享年79歳)
- ・野村克也さん(元プロ野球監督/84歳)

2 ヒートショックとは

ヒートショックは、自分の周りの温度が急に変化することで、血圧が急に変動し、心臓や身体が悪影響を受けること

就寝中(布団の中)/約30° 血圧低下↓

差20°でヒートショック

部屋を出る/約10° 血圧上昇↑

脱衣所へ/約5° 血圧上昇↑

差35°でヒートショック

お風呂に入る/約40° 血圧一気に低下↓

差35°でヒートショック

脱衣所で着衣/約5° 血圧上昇↑

たとえば暖かい部屋から寒い脱衣所や風呂場に入ると、体は体温を逃さないために血管が縮み血圧が急上昇。その後浴槽に入ると、熱いお湯に反応して血圧は再度、急上昇する等、こういった血圧の急変動が、心臓に負担を与え、**心筋梗塞や脳卒中などの症状を引き起こしてしまいます**。これらの症状を「ヒートショック」といいます

3 発生しやすい人と予防のポイント

ヒートショックは65歳以上の高齢者はもちろん、高血圧や糖尿病などの動脈硬化の基盤がある人、肥満や睡眠時無呼吸症候群、不整脈の人が影響を受けやすい！

下記のチェックリストに該当する場合は、ヒートショックの対策をして入浴するようにしましょう！

- 65歳以上である
- 高血圧、糖尿病、動脈硬化がある
- 肥満、睡眠時無呼吸症候群、不整脈がある
- 浴室に暖房設備がない
- 一番風呂が好き
- 熱い風呂が好き
- 飲酒後にお風呂に入ることがある
- 30分以上お湯に浸かっている

1. 脱衣所と浴室を温める
2. お風呂の温度は低めに設定
3. 湯舟からゆっくりと出る
4. 立ち上がる前にちょっと冷たい水や水道の蛇口など、ヒヤリするものに触れる

参考)国立循環器病研究センター:http://www.ncvc.go.jp/pr/release/20180425_press.html、週刊ダイヤモンド2021年4月15日:<https://diamond.jp/articles/-/267685>

あなうめ：Y000'6T磔巫聃①

本資料は、個人の見解をまとめたものとなっています。参考にさせていただいたサイトはリンク等を掲載しております。また、当社のコンテンツ・情報につきまして、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めておりますが、必ずしもそれらの正確性や安全性等を保証するものではありません。誤情報が入り込んだり、情報が古くなっていることもございます。万が一、当社に掲載された内容によって発生したトラブルや損害等の一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承くださいませ。お問い合わせ等は下記URLまでご照会ください。当コンテンツは、著作権法上の保護を受けています。著作権者の許諾を得ずに、当コンテンツの一部または全部を無断で複製・複製・転載することは禁じられております(<https://labo-ks.co.jp/>)。 © 2021 k'sらぼ株式会社